

- 日時：令和7年3月10日（月）14:40～16:30
- 場所：久留米工業高等専門学校
- 参加者：21名
- 講演者：ムーンショット目標6
北川勝浩プログラムディレクター（PD）
井上弘士教授、田淵豊ユニットリーダー

■背景・狙い

今回の交流会では、量子コンピュータに興味をもってくれた学生の皆さんに集まっていただきました。量子コンピュータの関連情報はネットでも多く集まりますが、実際に最先端で開発を行っている研究者は、実は意外と多くありません。そんな研究者と直接議論してもらおうというのが狙いです。

■概要

まずは九州大学の井上教授より、現代の古典コンピュータの動作原理とその限界についての講演が行われました。そして北川PDより、量子コンピュータに世間が期待していることがどういうものなのかを紹介。確かに量子コンピュータが買える時代が来ていますが、しかし本当に世間の期待に応えるスペックには、まだまだ遠く、今後も誤り耐性型汎用量子コンピュータという、複雑なシステムの構築に向けた研究開発が必要であることが語られます。

その後は田淵先生から、これまでに自身が開発してきた量子コンピュータについての紹介がありました。自身を含め高専出身の方が本分野で活躍していることも紹介し、学生の皆さんに熱いエールを送っていたのが印象的です。

グループワークでは、各テーブルで参加者が講義内容を踏まえて、量子コンピュータの実現に向けて、あるいは量子コンピュータが実現した社会に向けて、今から何ができるのか、講師も交えて自由な議論を行いました。

講演



グループワーク

